

平成30年度 高石事業計画 <特養・老健・デイサービス>

I.入所者の健康と安全

◇日々安心の生活

| 目 標 | 担当部署 | 具体的対策 |
|-------------------------|---|--|
| 1)疾病予防 | | |
| ① 感染症予防 <集団感染ゼロ> | イ)予防対策の周知徹底 予防月間を設け諸対策決定 i)防止月間:食中毒=6月 インフルエンザ・ノロウイルス=10月以降流行期 | ① イ.具体的予防策 i)a.通年対策 1)職員出勤時の手指消毒・うがい・検温 2)利用者のトイレ使用後及び食前の手指消毒 3))足ふきマット(階段下、踊り場、汚物室入口) b.流行期対策 1)マスク着用 2)乾燥対策(カーテン湿潤) 3)手すり消毒(毎日) 4)生ものチェック(キャビネ内) 5)厨房の衛生管理(服装、食材等の点検) |
| | ii)啓蒙活動(講習会、ポスター・標語) iii)マニュアル研修 | ii)a.医師による講習会及びポスター・標語作成(6月、10月) b.担当者の外部専門研修 iii)感染症予防マニュアルの再学習(施設内研修) 特にノロウイルス対策として嘔吐時の迅速・適切な対応ができるように実践研修を実施 |
| ② 褥瘡ゼロ | 発赤などの早期発見・処置、体位変換などの取組 | ② イ.こまめな体位変換(夜間2時間おき) ロ.予防マット使用 ハ.早期発見・早期処置 |
| ③ 異常の早期発見 と早期治療 | i)こまめな視診で異常の早期発見・早期治療 看護・介護・機能訓練等関係部門の連携 | ③ii)早期発見 1)廊下は居室側を歩き、室内視診の癖をつける。2)視診(顔色、呼吸の確認) 3)離床時に 必ず健康確認 4)見守りの原則(顔が見える位置で) 5)車椅子上の傾眠防止(声掛け)、覚醒 しない場合はベッド臥床 6)体調不良時のベッドでの安静臥床が続くケースの適切な観察等 ii)部門間連携 1)体調不良者の対応(医務室の指示を全職員に徹底) 2)急変時の対応能力アップ(年2回 の研修及び酸素ボンベ取扱方法の研修) |
| ④ 口腔内の清潔 保持 | 咀嚼、嚥下、発語機能の確保 | ④i)定期的口腔内診療 ii)咀嚼、嚥下、発語訓練の実施 iii)歯牙、義歯の補綴 |
| 2)事故防止 | | |
| ① 重大事故防止 <特養・老健ゼロ以下> | イ)事故原因の究明と対策立案 ロ)細心の注意を払って誤嚥・誤薬事故ゼロ | ①イ)i)巡回・見守り強化による「転倒・転落」事故を予防 b.おむつ交換、体位交換作業の上達で事故予防 ii)事故防止に向けた気づきの訓練、介護技術研修の実施(施設内研修及び外部講師による指導) ロ)毎食前の嚥下体操の実施により誤嚥のリスクを減らす。 |
| ② 一般事故半減 | イ)事故事例研究で危険予知(気づき)の力を高める。 ロ)介助技術向上により介助時の事故(主として皮膚剥離、内出血) を減少させる。 | ②イ)・ロ)ケース・スタッフミーティングで情報の共有、施設内研修で事例研究 |
| 3)虐待ゼロ | | |
| ① 言葉による虐待、 ネグレクト防止 | 入所者は言葉一つで、不安にもなる。また、ネグレクトも同じ。 | (虐待防止委) 暴力による虐待は厳禁。言葉の暴力、ネグレクトをしないで優しい、丁寧な言葉遣いを実行 |
| 4)食事改善 | | |
| ①咀嚼・嚥下対応 | | (給食班) ① イ.咀嚼・嚥下レベルに応じた食事形態(切り方、硬さ調整、ミキサー食のトロミ具合など) |

| | | | |
|---------------|----|--|--|
| ②異物混入防止 | | | ② イ.服装のチェック(自己及び相互チェック) ロ.下処理時の包装材除去と盛り付け時のチェック ハ.機械器具の劣化による破損などをこまめに点検 |
| 5)機能訓練の質・量アップ | 特養 | イ.1日当り訓練人数60名 ロ.ベッドサイドの可動域訓練充実 ハ.最適なポジショニング、車椅子姿勢の研修 ニ.職員の移乗動作研修 | |
| | 老健 | イ.短期集中リハビリの向上(6名/月以上) ロ.生活リハビリ訓練(入浴中の可動域訓練等)促進 ハ.集団リクリエーション、グループワークの充実(新内容の取入れ) ロ.生活リハビリ訓練(トイレでの排泄動作訓練と職員に対する介助方法の指導) | |
| | デイ | 利用者個人別の最適リハビリの実施:体力測定(3ヶ月毎)⇒改善メニュー作成⇒訓練実施⇒訓練結果を本人・家族に通知 | |

II.健全財政の確立 (介護報酬ダウンへの対応) ◇入りを図りて、出るを制す

| | | | |
|--------------------------------------|---|----------------|--|
| 1)収入増の取組 | | | |
| ① 稼働率Up | イ)特養(含むショート):稼働率102% ロ)デイ:登録者数50名、稼働率85% | 事務室(相談員) デイ | 日常の健康管理を徹底して入院者を減らす。 居宅支援事業所等への営業強化(顧客情報のこまめな提供、事業所数増加) |
| ② 特別加算 | 介護報酬改正対応 | 事務室(相談員) | 30年4月報酬改正内容を把握して取りこぼしをしない。 |
| 2)諸経費節減 | | | |
| ① 無駄の排除(残食量低減、節電・節水、消耗品節約など)で極力圧縮する。 | | 全職員 | 職員相互に小さな無駄を掘り起し、全員で節約 |
| ② 給食食材費の物価上昇対策 | 28年度595円 → 29年度599円 | 栄養士 | 食材の選別等の工夫を凝らして最小限にとどめる。 |

III.人材の確保と育成 ◇介護は人なり

| | | | |
|----------------|---|------------|--|
| 1)介護職員採用・育成 | | | |
| ① 非介護系新卒の採用と育成 | イ)採用活動のシステム化<学校訪問、パイプ作り> ロ)研修システム(25年度作成)の定着 | 事務室 介護 | 高校:信太、伯方、他に近隣高校を開拓 短大・専門:健康福祉短大、南海福祉専門、大阪社会福祉専門 3ヶ月間は教育担当者をつけて教育(介護実践を一緒に行う形の教育) |
| ② 中途採用 | イ)広告媒体中心のタイムリーな採用活動 ロ)退職者の再採用、職員の友人知人へのアプローチ | 全職員 | 採用活動にあたっては他法人の待遇等調査の事(特に契約職員の時給単価) |
| 2)看護職員の採用 | | 事務室 | |
| 3)介護職員の能力開発 | | 事務室、介護 | |
| ① キャリア段位制 | 遺徳会版の段位制制定 通称「CL制度」という | 7セッター・介護主任 | 昨年度に制度を発足させ、評価作業を進めており、本年6月にレベル1～5の格付け決定押す。 |
| ② マニュアル再教育 | 事故防止の観点からマニュアル見直し点検 | 介護 デイ | 事故の原因となっている作業のピックアップ、その作業マニュアル見直し・改正⇒研修 |
| 4)職員の健康増進 | メタボリック、ロコモ(※)予防 イ)BMIに基づく適正食事摂取 ロ)一日一万歩 | 医務室 | ※ロコモ:ロコモティブ症候群(運動器不全) BMI18.5以上～25未満・理想値は男22、女21 BMI:体重(Kg)÷身長(m)の2乗 Walking、自転車通勤、徒歩通勤、各エクササイズなどの実践 |
| 5)仕事・育児両立支援 | 復職時の短時間勤務(育児短時間従事者5名、復職1名予定) | 介護・事務室 | 短時間勤務者の有効活用 |

IV.快適な生活環境の提供 ◇笑顔がこぼれる生活支援

| | | | |
|----------|--|--|--------------|
| 1)利用者の整容 | | | 整容活動実施のシステム化 |
|----------|--|--|--------------|

| | | |
|----------------------------------|-------------|--|
| ① 整容活動実施のシステム化 | 介護 | イ.入浴後爪切り・入浴日髭剃りのシステム化 ロ.入浴日着洗濯及び入浴中止日の着衣交換のシステム化 ハ.毎朝離床時の着衣交換は利用者の好みにも配慮する。夏季は毎朝離床時必ず着衣交換。 |
| 2)居室・トイレの清潔維持 | | |
| ① 居室内(含むキャビネット、ベッド等)の換気・清掃・整理・整頓 | 介護 | ① イ.離床時の布団三つ折り ロ.臥床時の車椅子停止位置確定 ハ.週1回のベッド廻り清掃と床消毒 ニ.掃除機は毎日かける。ホ.換気の定期化(朝・夕のおむつ交換時、夜勤の配茶時) |
| ② トイレ(含むポータブルトイレ)清掃の徹底で悪臭を追放 | 介護 | ② トイレ介助終了後の介助者定例作業 イ.消臭剤散布 ロ.消毒液で便座・ペーパーホルダー・床を消毒 ハ.換気扇は常時ON |
| ③ 多勢の人が触れる手すり等の清潔 | 介護 | ③ ハイター等で拭く。 |
| 3)親切な対応 | | 家族来所時の近況報告は介護職員誰でもできるようにする。 |
| ① 安心感を与える | 全職員 | ① 忙しい時も、常にニコニコ笑顔で親切な対応 ② ニックネームで呼ばずに〇〇様、・・・さんと声をかける。 |
| 4)美味しく安全な食事提供 | 給食(栄養士、調理員) | ①残食量分析結果と嗜好調査結果を献立に反映させる。 ②残食量 28年度11.4%⇒29年度10.7% 29年度以下を目標 |

V. 娯楽の提供

| | | |
|----------------------------|--------|--|
| 1)楽しい行事 | 介護、事務室 | 外食・買い物ツアー、焼き芋デー(夏季はアイスデー)など利用者に喜ばれる行事の実施 |
| 2)ボランティア団体による慰問行事を充実させる。 | 事務室他 | |
| 3)デイサービスは娯楽性に富むプログラムの考案、実施 | デイ | |

添付資料

- 資料1 委員会の目標
- 資料2 クラブの目標
- 資料3 班の目標
- 資料4 年間行事計画
- 資料5 施設内研修

30年度 委員会目標

| 特 養 | 事故防止委員会 | 老 健 |
|---|---|---|
| <p>1. 重大事故ゼロ (29年度は年間5件)</p> <p>2. 一般事故減少</p> | <p>① おむつ交換、体位変換を利用者の身体状況に最適な方法で安全に、安楽に行う。</p> <p>② 相手様中心の介護技術を身につけるための研修と再確認</p> <p>① ヒヤリ・ハット事例の活用で、気づきの力を高める。</p> <p>② 報・連・相を密に行う。</p> | <p>1. 重大事故防止</p> <p>①事故原因の究明と対策立案 イ)利用者をよく観察する習慣を持ち、巡回、見守り強化で「転落・転倒」次項予防 ロ)事故防止に向けた職員研修を定期的に開催。</p> <p>②細心の注意を払って誤嚥、誤薬事故ゼロ イ)しっかり確認し誤薬事故ゼロ ロ)食前の嚥下体操実施により誤嚥のリスクを減らす。</p> <p>2. 一般事故半減</p> <p>①事故から学び再発防止、サービス向上につなげる。 ②利用者理解を深め、正しい介助方法で事故を減少させる。</p> <p>報告書に基づいて利用者の状態の変化等を把握 予防策を収支徹底し、継続的な改善の取組に努める。</p> |
| 特 養 | 感染症・食中毒委員会 | 老 健 |
| <p>感染症発症者ゼロ</p> <p>① 手指洗浄・消毒、うがいの徹底</p> <p>② 職員の健康管理</p> <p>③ 感染症予防月間(6月、12月)</p> <p>④ 年2回感染症研修実施</p> | <p>毎朝の検温チェックの実施</p> <p>感染症予防月間運動で標語の募集</p> | <p>1. 感染症集団発生防止</p> <p>①インフルエンザ、ノロウイルスの流行前に予防対策の実施と周知ポスター、標語で意識を高める。(職員及び利用者の投稿)</p> <p>②職員の意識向上に向けた勉強会と予防シュミレーションの実施</p> <p>③感染症発症時には老健・特養合同の感染症委員会を開催、集団発生予防のための情報共有と対策立案をする。</p> <p>2. 職員の日常的取組</p> <p>①出勤時検温、体調変化のチェックで早期対応</p> <p>②流行期には手洗い、うがい、マスク着用を徹底。</p> <p>③健康診断(2回/年)、予防接種(インフルエンザ流行期10～11月)</p> <p>3. 快適で清潔な環境の整備</p> <p>①掃除及び換気</p> <p>②施設内各所の消毒</p> <p>③キャビネット内の点検管理</p> |

30年度 委員会目標

| 特 養 | | 褥瘡防止委員会 | | 老 健 | |
|----------------------------|--|---------------------------------------|--|------------|---|
| 褥瘡予防 | ① 早期発見早期対応 ② 体位変換 | 発赤発見⇒Ns及び主任に報告⇒全員で情報共有 ポジショニング研修実施 | | 褥瘡ゼロ | ① 体動の無い臥床時における2時間ごとの体位変換 ② 予防マットの使用 ③ 早期発見・早期処置 |
| 特 養 | | 虐待防止委員会 | | 老 健 | |
| 「虐待につながる行動がないように、常に意識を高める」 | | | | | |
| ① | 毎月のスタッフ会議で、苦情、クレーム、要望の中から、虐待に繋がる行動がないかチェックをして改善する。 | | | 1. 言葉の暴力禁止 | 年配の方を敬う気持ちを持った言葉づかいを行っていきます。 |
| ② | 内部研修 年2回、委員会は毎月開催。 | | | 2. 安心の提供 | 利用者が安心して過ごしていただけるような対応を行っていただきます。 |

30年度 クラブの目標

| 特 養 | | 老 健 |
|---|-----------------|---|
| 個人で歌っていただける曲、皆様で盛り上がる曲をリストにし、スムーズに盛り上がるようにする。 | カラオケ | 多くの方に歌っていただけるように声掛けをしていく。一人で歌うのが難しい方には何人か一緒に歌っていただくようにする。 |
| | フラワー アレンジメント | 全体の数が4個と決まっているため、毎回違う参加者の方が活けるように後退に参加していただく。 |
| 作品を飾る時、制作者名のプレートを作り参加意欲につながるようにする。 | お花 | |
| ユックリとした曲やクラシック等をかけ、ゆっくりとカフェやお茶を楽しんで頂く。 | お茶会 | 出来る限り離床していただき、ロビーで皆様そろって召し上がって頂き、ゆっくりと過ごしてもらおう。 |
| 参加者が季節感や作る楽しみが伝わるように取り組む。 | おやつ | 調理できる方が限られているため、見学などで多くの方に1階に下りて頂くようにする。 |
| | 手芸 | 参加の人が少ないため、現状維持をしていく。 |
| | ほの ほの | 色々な話をしてもらいながらゆっくりと過ごしてもらおう。 |
| 季節ごとの作品や新しい工作などを考えていく。 | 工作 | 時間内で作品を完成させるのが難しいため、簡単な作品にするか、水曜日の午後など行事がない時にも行う。 |
| 前月に議題を決め季節感に合った内容を掲示していく。 | 習字 | 筆を持ち書いていただける方が少ないため簡単な文字を書いてもらう。 |
| 歌える曲数を増やせるようにDVDを増やす。 | 合奏 リズム | 少しでも多くの方に参加してもらえるように、声掛けを行っていきます。 |
| 盛り上がるよう手順を考え一部でも参加できるようにする。 | 総レク | |
| 簡単な問題や書き物を少しでもできる人に実施する。 | 脳トレ | |

30年度 行事計画

| 月 | | 特別な食事会 | 月 | | 特別な食事会 |
|----|---------------------------------|---------------------|-----|-------------------------------|---------------------|
| 4月 | 花見 (桜の咲き状況で開始) アリオ外出 | お花見膳 お誕生日食事会 | 10月 | だんじり祭り アリオ外出 風船バレー大会 | お誕生日食事会 |
| 5月 | 菖蒲湯 アリオ外出 | 端午の節句食事会 お誕生日食事会 | 11月 | 家族懇談会 アリオ外出 | お誕生日食事会 |
| 6月 | アリオ外出 ◇マンドリン&ギター ◇グループまどか | お誕生日食事会 | 12月 | クリスマスイベント アリオ外出 ◇園児との交流 | クリスマス食事会 お誕生日食事会 |
| 7月 | 七夕まつり アリオ外出 | 七夕食事会 お誕生日食事会 | 1月 | お正月 初詣 ◇フラダンス | アリオ外出 お誕生日食事会 |
| 8月 | 家族懇談会 アリオ外出 盆踊り | お誕生日食事会 | 2月 | 節分豆まき アリオ外出 ◇園児との交流 | お誕生日食事会 |
| 9月 | 敬老月間イベント アリオ外出 ◇園児との交流 | 敬老食事会 お誕生日食事会 | 3月 | 物故者法要 アリオ外出 | お誕生日食事会 |

註)◇印は慰問等

慰問以外:車椅子誘導(毎月、市老連婦人会)、義歯洗浄(2ヶ月に1回、エイフボランティア)、
傾聴(年10回、西光寺仏教婦人会)

30年度 施設内研修計画

| 月 | テーマ | 実施内容 | | | | | |
|----|----------------------|----------|---|---|----|-----|------|
| | | 担当 | 月 | 日 | 曜日 | 出席数 | 研修内容 |
| 4 | 個人情報と法令遵守 | 特養 | | | | | |
| 5 | 緊急時の対応 | Dr.西田 | | | | | |
| 6 | 感染症Ⅰ | 感染症委 特養 | | | | | |
| 7 | 脱水症状と栄養について | 栄養士 | | | | | |
| 8 | 事故防止Ⅰ | 事故対策委 特養 | | | | | |
| 9 | 虐待防止(スピーチロック等について) | 虐待防止委 老健 | | | | | |
| 10 | 感染症Ⅱ | 感染症委 老健 | | | | | |
| 11 | 認知症 | 認知症委 特養 | | | | | |
| 12 | サービス向上に向けて(苦情・要望の共有) | サ向上班 特養 | | | | | |
| 1 | 事故防止Ⅱ(拘縮による結節の危険性) | 事故対策委 老健 | | | | | |
| 2 | リハビリテーション | 播磨PT 老健 | | | | | |
| 3 | 口腔ケア | 特養 | | | | | |